

## はじめに

東京都では、平成19年度に東京都自立支援協議会を設置し、様々な障害を有する方々が、基本的人権を享有する個人としての尊厳にふさわしい日常生活や社会生活を営むことができる地域社会を構築するための協議を重ねてまいりました。

第7期（令和3年度及び4年度）においては、「都と地域の協議会活動における情報共有を促進し、当事者と共に地域課題への取組を考える」をテーマとして、地域自立支援協議会における地域課題や課題解決に向けた創意工夫等の情報を収集し、地域自立支援協議会と情報共有することを目指して活動を進めてきました。

令和4年度は、「当事者の声・願いを中心において、地域移行・地域生活支援の課題を考える」を活動方針とし、地域自立支援協議会交流会と東京都自立支援協議会セミナーについて、それぞれの活動相互間の連動を意識して企画・開催いたしました。各区市町村から、多くの方々の御参加を得て、参加者の皆様からも、今後の活動等について、貴重な御意見をいただき、心より感謝申し上げます。

毎年度発行しているこの動向集についても、上記の活動方針を踏まえた新規調査項目を加え、年度末には都内全区市町村の御協力を得て調査を実施し、今般、令和4年度版としてとりまとめました。

本冊子を活用して頂くことで、東京都及び地域自立支援協議会の諸活動促進の一助となりましたら幸いです。

最後となりますが、調査の実施にあたりまして、地域自立支援協議会関係者の皆様に多大なる御協力を頂きましたことに、深く感謝申し上げます。

令和5年5月

東京都心身障害者福祉センター 所長 富山 貴仁